

試合番号 : 227	試合会場 : 旭川市リアルター夢りんご体育館 (旭川市総合体育館)	観客数 : 1,095	
開始時間 : 14:30	終了時間 : 16:58	試合時間 : 02:28	
主審 : 本間 明		副審 : 上総 向貴	
ヴォレアス北海道	通算 2勝 24敗 ポイント : 8	日本製鉄堺ブレイザーズ	通算 16勝 10敗 ポイント : 46
監督コメント	2	3	0
最初の2セットこそうまくいきませんでした、今日の試合はかり接戦でした。 第2セットの後我々は落ち着いて戦う決意をして試合に戻り、ホームの観客の力強い声援を受けて立て直すことができました。サイドアウトも良くなり、サーブもうまくいきました。 第5セットでは少し及びませんでした。セット終盤の重要な局面で日本製鉄堺ブレイザーズの力強さを感じました。 全体として、私たちは最善の努力をしたので、今日のパフォーマンスには満足できます。ホームファンの大声援に感謝します。	18 第1セット 25 22 第2セット 25 25 第3セット 16 25 第4セット 20 14 第5セット 16	非常に厳しい試合でしたが、最後まで勝つことができ良かったです。こうした試合をものにしていくことも、チームとして重要なことだと思います。 来週以降も課題点を修正し、万全の準備をして臨みます。 熱い応援、ありがとうございました。	
要約レポート	昨日に続き、ヴォレアス北海道がホームに日本製鉄堺ブレイザーズ迎えての一戦。 第1セット、中盤まで一進一退の攻防が続いたが徐々に日鉄堺の流れになる。ヴォレアスも終盤に本澤、米村、古賀を投入し流れを変えようとするが、最後まで試合を優位に進めた日鉄堺が先取した。 第2セット、ヴォレアスはセットの序盤から本澤を投入し張にトスを集め、中盤まで接戦になる。日鉄堺は後半、バーノンと迫田の攻撃で徐々に流れを掴み、最後は安井がスパイクを決め連取した。 第3セット、後が無くなったヴォレアスはルークにボールを集め、終盤まで試合を優位に進める。さらにヴォレアスは張の攻撃や山岸のサービスエース、戸田のブロックで突き放しにかかる。日鉄堺は安井を投入するが流れは止まらず、最後までリードを守ったヴォレアスがセットを奪った。 第4セット、ヴォレアスの田城が速攻、ブロックと活躍を見せ、序盤からペースを掴む。我慢の時間が続く日鉄堺は食ひ下がるが、最後まで流れを渡さなかったヴォレアスがセットを連取した。 第5セット、終盤まで互いに譲らずデュースまでもつれた最終セットは16-14で日鉄堺が勝利した。		

試合番号 : 228	試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)	観客数 : 2,446	
開始時間 : 14:00	終了時間 : 16:35	試合時間 : 02:35	
主審 : 木内 誠二		副審 : 戸川 太輔	
ウルフドッグス名古屋	通算 19勝 7敗 ポイント : 58	東レアローズ	通算 12勝 14敗 ポイント : 32
監督コメント	2	3	0
昨日と本日にわたり、ここ豊田合成記念体育館「エントリオ」でのホームゲーム開催にご尽力いただいた皆様、本当にありがとうございました。改めて感謝申し上げます。 相手の効果的なサーブによってタフな試合となりました。更には相手のブロックとディフェンス、その後の切り返しの攻撃に苦戦する場面もありました。このような難しい試合においても、最後まで真摯に闘った選手たちを誇りに思います。本日のプレーを忘れることなく、次戦のホームゲームもチーム一丸となって戦い抜きます。 ファンの皆様、この2日間たくさんの応援ありがとうございました。来週末、ここ豊田合成記念体育館「エントリオ」でお会いできることを楽しみにしております。 Enjoy the competition!	25 第1セット 22 21 第2セット 25 25 第3セット 21 22 第4セット 25 11 第5セット 15	今日の試合はフルセットと非常にタフなゲームになりましたが、最後まで勝ち切れました。 昨日の試合では終盤まで競りながらも、最後に点数をひろげられる展開でしたが、今日の試合では粘り強く戦えたと思います。また、サイドスパイク一陣が昨日の反省を活かし、攻撃力を高く保てたことが勝因となりました。 ファイナルステージに向けて、厳しい戦いが続きますが、チーム一丸でがんばっていきます。 本日は、たくさんの応援、ありがとうございました。	
要約レポート	第1セット、東レアローズは小澤やパダルがスパイクで得点を重ねれば、ウルフドッグス名古屋はクレクや高梨の攻撃で得点を重ね、両者譲らない試合展開となる。接戦が続く中、WD名古屋はクレクのサービスエースで流れを掴み、最後はクレクのバックアタックで、セットを先取した。 第2セット、東は、サービスエースや、小澤のスパイクで得点を重ね、13-4とWD名古屋を突き放す。WD名古屋は中野が入り、同じく途中出場の椿山、水町のスライクや王のブロックで20-21と一点差にまで追いつくも、最後は東が李のレシーブから、パダルがスパイクを打ち切り、セットを取り返した。 第3セット、WD名古屋はクレクのアタックやブロックで得点するも、東はパダルや富田のスパイクで12-9とリードする。中盤、WD名古屋はクレクのスパイクや山崎のアタック、王のブロックで勢いに乗り、21-19と逆転する。終盤までWD名古屋の勢いは止まらず、最後はクレクのブロックアウトでこのセットを奪取した。 第4セット、サイドアウトが続く中、後がない東は酒井やパダルや富田にトスを集め、リードする。WD名古屋はクレクと山崎の攻撃で得点するも、東の勢いは止まらず、フルセットにもつれ込む。 第5セット、東はパダルのノータッチエースから、2本のブロックで得点を重ね7-3と前に出る。WD名古屋はクレクのバックアタックで東に迫るも、東は5連続得点し、WD名古屋を突き放す。WD名古屋は水町からクレクと山崎が得点し粘りを見せるも、最後は東が高橋が速攻を打ち切り、フルセットの激戦を制した。		

試合番号 : 229	試合会場 : Asueアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)	観客数 : 1,704	
開始時間 : 13:30	終了時間 : 15:07	試合時間 : 01:37	
主審 : 服部 篤史		副審 : 中山 健	
サントリーサンパーズ	通算 21勝 5敗 ポイント : 60	ジェイテクトSTINGS	通算 7勝 19敗 ポイント : 21
監督コメント	3	0	0
本日もサンパーズへのご声援有難うございました。 昨日はジェイテクトのニューフェイス高橋(慶)選手に仕事をさせてしまったことを課題に今日の試合を迎えました。ジェイテクトは昨日と違うメンバーが出場しましたが、自分たちのやるべき事を最後までやり切ったことが勝利につながったと思います。完璧な試合を繰り返すことは難しいことですが、しかし我々は妥協せず要求し、高め合えるようなチームでありたいと思います。一試合ずつ「PLAY HARD」を徹底し、日々成長し優勝を目指します。 残り試合も少なくなり順位争いも激しくなってきました。一つでも上の順位でファイナルの試合に臨みたいと思いますので、今後ともサンパーズへのご声援宜しくお願いします。	25 第1セット 19 25 第2セット 21 25 第3セット 21 第4セット 第5セット	サントリーの素晴らしいプレーをたたえたいと思います。 アイン、ムセルスキー両選手の素晴らしいプレーもあり、非常に難しい試合となりました。 本日もたくさんのご声援有難うございました。 また来週も応援よろしくお願ひします。	
要約レポート	昨日の勝利でファイナルラウンド出場が確定したサントリーサンパーズとジェイテクトSTINGSとの一戦。 第1セット、序盤は両チーム一進一退の攻防を繰り返す。途中サントリーは競った展開から抜け出すと、ジェイテクトの粘りを振り切り、アラインの強烈なサーブが連続で炸裂し、そのまま一気にセットを取った。 第2セット、序盤はジェイテクトがリードするも、サントリーは徐々に追いつき、ムセルスキーのブロックで逆転するとリードを広げる。ジェイテクトはウルナウトや藤中、村山の攻撃で粘るも追いつかず、サントリーがセットを連取した。 第3セットは、最初からサントリーの攻撃が決まり一気に点差を広げていく。中盤以降ジェイテクトの攻撃をサントリーの鬼木、小野寺のブロックで阻みリードを守る。最後ジェイテクトは高橋(慶)、ウルナウトの活躍で追い上げるも、サントリーのアラインの強烈なサーブが決まり、3-0でサントリーが勝利をした。		

試合番号 : 230	試合会場 : パナソニックアリーナ	観客数 : 2,741	
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:23	試合時間 : 01:23	
主審 : 浅井 唯由		副審 : 原 啓之	
パナソニックパンサーズ	通算 25勝 1敗 ポイント : 74	VC長野トライデンツ	通算 1勝 25敗 ポイント : 6
監督コメント	3	0	0
素晴らしい勝利でした。昨日よりはタフな試合でしたが、私たちがより良いプレーをすることができたと思います。 また、来週もご声援よろしくお願ひいたします。	25 第1セット 20 25 第2セット 13 25 第3セット 21 第4セット 第5セット	試合を通して、サーブ・サイドアウトの重要性を再認識した試合になりました。また、ディフェンスをした後のトスへの処理の差も目立つ試合になりました。 細かな技術を再度徹底し、来週にむけ調整したいと思います。 二日間沢山の声援ありがとうございました。引き続き、来週もよろしくお願ひいたします。	
要約レポート	連勝街道をひた走る、パナソニックパンサーズと1つでも白星が欲しいVC長野トライデンツの試合。 第1セット、序盤は互角の展開だったが、パナソニック山内のノータッチサービスエースをきっかけにエバダンの速攻が決まるなど点を重ね、最後は山内が決めて、パナソニックがセットを先取した。 パナソニック大塚のシャットアウトブロックで始まった第2セットは、パナソニック西田がスパイク、ブロック、強烈なジャンプサーブと大車輪の活躍を見せる。対するVC長野は、セッター中島からのワンハンドトスを工藤が決めるなど、反撃のきっかけを掴みかけたが、その後もパナソニックの猛攻が続く。パナソニックがセットを連取した。 第3セット、流れを変えたいVC長野は藤原のアタックやブロック、途中出場の波佐間の速攻など緩急を交えた攻撃を行い終盤まで競った展開となったが、パナソニックはジェスキーや西田のスパイクが決まり、パナソニックが連勝を伸ばし19連勝目となった。		

※本票の著作権は、一般社団法人ジャパンバレーボールリーグに帰属します。